

英国鉄道の事前購入型割引運賃 Advance について

こやくまる さちこ 小役丸 幸子 調査研究センター主任研究員

はじめに

英国の鉄道運賃は、大きく分けて「正規」「割引」「事前購入」および「定期券」から成る。このうち、定期券を除く都市間輸送の鉄道運賃には表1のような種類と特徴がある。表1に掲載した Anytime, Off-peak, Super Off-peak, Advance (および表に記載はないが、定期券の Season Ticket) は英国の鉄道旅客輸送事業者全体、つまり、すべての列車運行会社 (Train Operating Company: TOC) で共通のブランドである。なお、表1では西海岸線の運行を行う Virgin Trains の事例を示している。

都市間輸送区間で設定されており、早期に購入するほど安い事前購入型割引運賃 Advance は、払い戻し等は原則不可であり、販売枚数に制限があるが、すべての運賃の中で基本的に最も安い価格で提供されている。一方で、いわゆる定価のない Advance の提示価格はその日限りであり、発

売期間中にどのような価格の動きを見せるのか、その全体像を把握するのは難しい。

そこで、本稿では、主に Virgin Trains (および、一部、Virgin Trains East Coast) の事例を用いながら、Advance の特徴と価格変動の動向について取り上げる。

1. Advance の特徴

英国の代表的な都市間路線である西海岸線のロンドン～バーミンガムとロンドン～マンチェスター、そして、東海岸線のロンドン～リーズとロンドン～ヨークの4区間における Advance を含む各運賃の実際の価格について示したのが表2である。

この表に記載されているように、Anytime や Off-peak など Advance 以外の運賃は定められた価格であり、同一区間であれば、利用の時期や時間帯にかかわらず、常に同一の価格である。

一方、Advance については、次の特徴が挙げ

表1 運賃の特徴 [Virgin Trains の場合]

運賃の名称	Anytime	Off-peak	Super Off-peak ¹⁾	Advance
種別	正規	割引	割引	事前購入
利用当日購入	○	○	○	× 前日までに購入
利用可能(設定)時間	終日(全便)	制限あり ²⁾	制限あり ³⁾	原則として 終日 ⁴⁾
払い戻しの可否	○	○	○	×
購入場所	駅/オンライン	オンラインのみ	オンラインのみ	駅/オンライン
価格: 固定/変動	固定	固定	固定	変動
価格	高い ← → 安い			

注1) Virgin Trains ではロンドン～バーミンガム間のみ設定。

2) 利用可能(設定)時間は乗車区間によって異なる。たとえば、ロンドン発バーミンガム/マンチェスター行の場合、原則として、ロンドン・ユーストン駅9:26発以降の列車に適用。ただし、15:01～18:44発の列車には適用されない。

3) ロンドン・ユーストン駅発の場合、月～金は11:00～13:40および20:15以降の列車に、また、土日は10:30～16:30および18:30以降の列車に適用される。

4) 設定のない列車あり

出所: Virgin Trains ウェブサイトに基づき作成

られる。

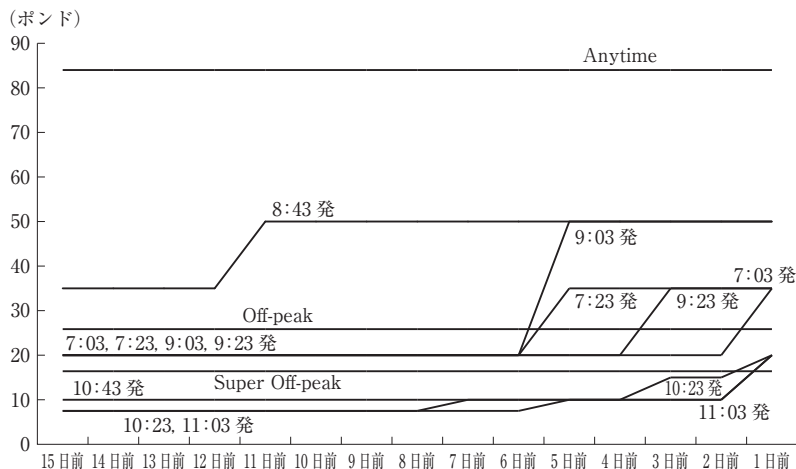
①利用する時期や日が同じでも、利用時刻によって金額が異なる。

そもそも Advance は利用する時期(月や曜日)で価格が異なる。たとえば、ロンドン発バーミンガム行について、7月下旬と9月上旬の午前中(7:00~11:00頃)の同時刻に発車する列車の Advance の各価格を比較すると、利用日1日前時点では、7月下旬の半数の列車で9月上旬よりも1.4~2.7

倍高かった。さらに、同じ7月下旬であっても、水曜日と土曜日では異なる価格設定となっている。

また、同じ日であっても利用する列車の時間によってそれぞれ価格は異なる。図1では、7月24日にロンドンを午前中(7:00~11:00頃)に発車し、バーミンガムに向かう列車のうち、8本の列車について、利用日15日前からの Advance の価格の推移を示している。ロンドン発10:00以降のオフピーク時間帯の列車は Super Off-peak 以下の価格であるのに対し、8:43発の列車は当初

図1 利用日15日前からの発車時刻別 Advance の価格の推移
[2015年7月24日におけるロンドン発バーミンガム行の片道運賃]



注) Anytime, Off-peak, Super Off-peak 以外で、出発時刻を記載しているものはすべて Advance

出所: Virgin Trains ウェブサイトに基づき作成

から比較的高い価格設定がされているなど、基本的に、ピークの時間帯で価格が高くなっている。

②購入日によって金額が変わり、早く買うほど安く、利用日に近づくほど高額になる。

さらに、Advance は利用日だけでなく、購入日によっても価格が異なる。図1で示した7月24日ロンドン発バーミンガム行の Advance の価格を利用日1カ月前から見ていくと、どの列車においても当初はほとんど変動がなく、ほぼ一定の価格で推移している。

表2 各運賃の価格

(単位: ポンド)

区間	距離	所要時間	Anytime	Off-peak	Super Off-peak	Advance ¹⁾	
						ピーク時	オフピーク時
Virgin Trains [西海岸線]							
ロンドン発 バーミンガム行	162km	1時間25分	84.00	25.85	16.40	20.00 ~ 50.00	7.50
ロンドン発 マンチェスター行	261km	2時間10分	164.5	40.80	-	35.00	25.00 ~ 35.00
Virgin Trains East Coast [東海岸線]							
ロンドン発 リーズ行	272km	2時間15分	112.00	-	51.30	39.70	30.85
ロンドン発 ヨーク行	303km	1時間55分	112.00	160.00 ²⁾	51.30	28.40 ~ 37.75	28.40 ~ 60.75

注1) 乗車1カ月前時点の価格(2015年7月24日 Advance の2015年6月24日時点における価格)

2) 往復の価格

出所: Virgin Trains ウェブサイト, Virgin Trains East Coast ウェブサイトに基づき作成

価格が大きく動き出すのは、利用日のおおむね1週間ほど前からである。1回の値上げ率は33%~150%と幅があり、9:03発のAdvanceは利用6日前に前日までの20ポンドから50ポンドへ価格が2.5倍上がっている。一方、10:23発および11:03発のAdvanceの場合、1回あたりの上昇率は小さいが、当初価格の7.5

ポンドから前者は3回、後者は2回と小刻みに値上げが行われた結果、両者とも最終的には20ポンドとなり、価格は約2.7倍上昇している。どのタイミングでどれだけ価格が上昇するかは列車により様々である。

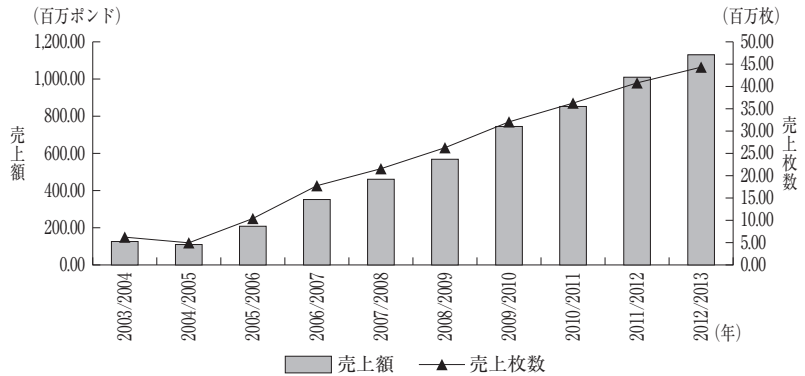
また、Advanceの販売が途中で終了となる列車もある。図1にはないが、7月24日ロンドン10:03発バーミンガム行の列車のAdvanceは当初7.5ポンドで事前販売されていた。しかし、販売予定枚数に達したためか、利用日の9日前より販売終了となっている。

2. Advanceの現状

前述のような特徴を示すAdvanceであるが、その売上枚数および売上額はともに年々増大している(図2参照)。また、それに伴い、すべてのTOCにおいてAdvanceが全運賃収入に占める割合も、2007年は8%であったのが、2012年には14%に増大している。なかでも、Advanceがよく利用される都市間輸送を行うTOCでは約30%とりわけ、西海岸線および東海岸線のロンドン~マンチェスターやロンドン~リーズといった区間においてAdvanceが全運賃収入に占める割合は50%以上を占めるともいわれている。

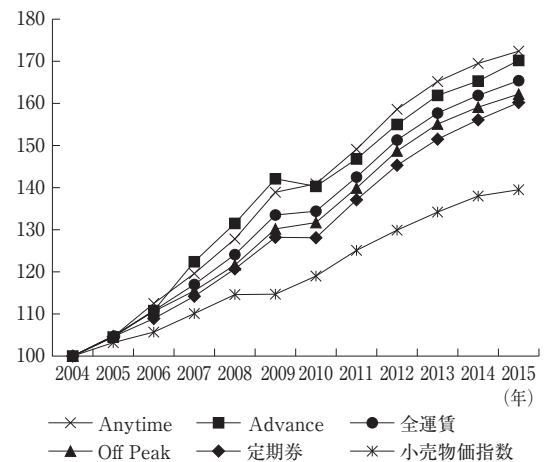
一方、2004年以降の値上げ状況を見ると、全

図2 Advanceの売上の推移



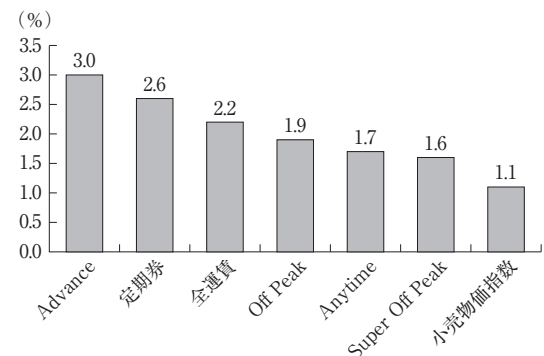
出典: Department for Transport, Rail Fares and Ticketing: Next Steps, October 2013

図3 運賃値上げの推移(2004年を100とする)



出典: Office of Rail and Road

図4 2015年における各運賃の対前年上昇率



出典: Office of Rail and Road

運賃と比較しても Advance の上昇率は Anytime に次いで大きい(図3)。また、2015年における Advance の対前年上昇率は3.0%であり、すべての運賃の中で最も高い値上げ率を示している(図4)。運賃値上げの際、Off-peak などの一部の運賃はプライスカップという値上げ率の上限規制が課せられているが、Advance はプライスカップ対象外運賃である。そのため、事業者は、Advance については値上げ幅を気にすることなく、運賃を上げることができる。

おわりに

Advance は表1で示したように、利用当日の購入ができない、払い戻しができないといった不便さはあるものの、正規運賃 Anytime のおおむね半額以下、場合によっては1割程度という価格の安さは、利用者にとって大きな魅力である。それゆえ、利用も伸びているが、いくつか問題点も見受けられる。そこで、最後に、Advance の課題について言及する。

①予告なく行われる価格上昇や販売終了

Advance は、図1のように利用日に近づくにつれ価格が上昇し、また、場合によっては販売が終了することもあるが、少なくとも利用者には、価格の値上がりなどに関してその仕組みやルールなどが示されているわけではない。売れ行き等の状況を鑑み、事業者側が自由に価格を設定している。したがって、どの列車の Advance が、いつ、どのくらい値上げされるか、利用者にはまったくわからない。購入を1日延期したために Advance の価格が2倍に値上がりしていたということは常に起こりうるが、それがどのタイミングで起きるかを予測することは一般的には不可能である。

加えて、他の運賃にはどのような種類があり、それらの価格や利用条件はどうかについて、利用日/購入日/利用する列車によって価格が異なる Advance と比較し、複雑多岐にわたる運賃の中から、自分に最適な運賃を見きわめるのは容易で

はない。

利用者にとって Advance は安価という意味では便利な反面、その性質を理解していないと使いにくい運賃ともいえる。

②平均を上回る運賃値上げ

前述したように、Advance は運賃値上げの上限規制であるプライスカップの適用範囲外にあるため、日々の価格だけでなく、毎年の運賃改定においても事業者は自由に値上げを行うことができる。そのため、Advance は他の運賃と比べて値上げ幅が大きい。都市間輸送における Advance の利用が著しく拡大している現状において、自在に価格を上げることのできる Advance は、事業者にとって都合のいい運賃といえるであろう。

2015年8月、運輸省は、2016年における鉄道運賃の値上げについて、指標となる小売物価指数の上昇率に基づき、プライスカップ規制下にある運賃を平均1%引き上げると発表した。ただし、この規制下でない Advance は、2016年も他の運賃を上回る値上げが行われることが予想される。Advance は最も安く、価格が流動的で定価のない運賃だけに、利用者にとって値上げが見えにくい。そういった特性が今後の Advance の利用にどのような影響を与えるか、注視していきたい。

※1ポンド=182.6円(2015年9月1日)

[参考文献]

- [1] Department for Transport, Rail Fares and Ticketing Review: Initial consultation, March 2012
- [2] Department for Transport, Rail Fares and Ticketing: Next Steps, October 2013
- [3] Office of Rail and Road, Rail Finance: Fares Index (January 2015) Statistical Release, 14 May 2015
- [4] Virgin Trains ウェブサイト
<http://www.virgintrains.co.uk/>
- [5] Virgin Trains East Coast ウェブサイト
<https://www.virgintrainseastcoast.com/>